

## 「一タラントの活用」



ワールドヴィジョン・ジャパン  
理事長

榊原 寛

「一タラント預かった者は、出て行くと、地を掘って、その主人の金を隠した。」

「主人は彼に答えて言った。『悪いなまけ者のしもべだ。私が蒔かない所から刈り取り、散らさない所から集めることを知っていたというのか。』」 (マタ25:18, 26)

一タラント預けられた自分は、他人を羨ましく思い、自分はこれではタランゾ、タランゾ、と言って嘆いていませんか。またいつも他者と比べて、コンプレックスのかたまりになり、何もしないでいるのではありませんか。

主人は、「おのおのその能力に応じて」それぞれにタラントを預けて旅に出かけたのです。預けられたふたりのしもべは「すぐに行って」商売を始めました。

「銀座まるかん」創設者齋藤一人さんは

このように言っています。

「あなたは『何か行動するように』とこの地球に遣わされているのです。行動しないということ自体、どういうことかという、『何もしない』という行動をしているのです。『行動しない』のは、行動しないのではなく、『何もしない』という行動をとっているのです。」

一タラントをそのままにしておくか、もう一タラントを主人に差し出すことができるかはあなた次第です。

2015年の新しい年が始まりました。

世界的に終末を感じ、主の再臨が近いと思われるとき、与えられた一タラントを精一杯活用しようではありませんか。

「キリストがすべての人のために死なれたのは、生きている人々が、もはや自分のためにではなく、自分のために死んでよみがえった方のために生きるためなのです。」(第二コリント5:15)

### TPCの活動目的

- (1) 閉塞感のある日本のキリスト教会に元気を与える
- (2) 超教派として活動する
- (3) 毎日、礼拝を捧げ、祈り会を行う
- (4) 伝道、学びなどのために貸室を提供する